

CAS SciFinderⁿ 反応検索のテクニック

2021 年 10 月

* 目次 *

反応検索のテクニック

反応検索の種類	2
反応情報データベースに収録されている反応情報の例	3
反応情報データベースでの反応検索の流れ	4
反応検索ツール	11
表示された物質に関する反応検索	12
Product Only Reaction	13
反応検索に関するよくある質問	15



情報事業部

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-25-4 中居ビル TEL: 0120-003-462 FAX: 03-5978-4090

URL: www.jaici.or.jp E-mail: support@jaici.or.jp

反応検索の種類

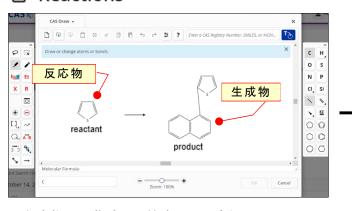


CAS SciFinder[®] の反応検索は、大きく分けて 2 種類ある.

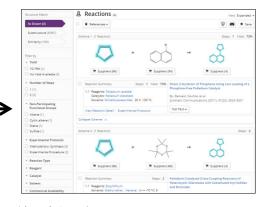
反応検索

- 反応自体が新規、もしくは改良点等のある有機化学反応がスキーム表示される。
- ・ すべての反応関与物質(反応物、生成物、試薬、溶媒、触媒)や、収率情報などを確認できる。

A Reactions



A Reactions



※生成物のみ指定した検索では、追加で Production Only の結果も得られる(P13).

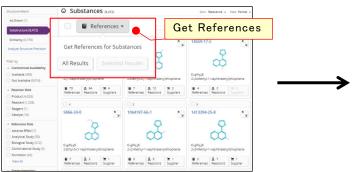
さらに幅広く反応情報を取得するには、物質情報データベースからの反応情報検索も行う...

※3 種の反応情報(反応情報データベース/Production Only/物質情報データベースからの反応情報)の違いは、p14を参照.

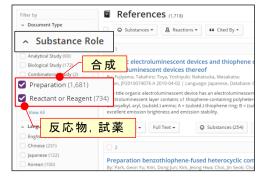
物質情報データベースからの反応情報検索

- ・ 反応検索では確認できなかった有機化学反応が、追加で得られることもある.
- 無機化合物やポリマーなど有機化合物以外の反応情報も幅広く確認できる。
- ・ 生成物もしくは反応物のどちらか一方を指定した検索のみできる.

Substances



References



 \Rightarrow

CAS SciFinderⁿ検索ガイドを参照(https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn.pdf)

反応情報データベースに収録されている反応情報の例

- 一段階反応(例:新規反応を開発した論文)
 - 反応(1) ~ 反応(3)を反応情報として CAS SciFinderⁿ で検索できる.

反応 (1) A ---> B 反応 (2) C ---> D 反応 (3) E ---> F

- · 多段階反応 A + B ---> C ---> D ---> E (例:全合成)
 - 反応(1) ~ 反応(6)を反応情報として CAS SciFinderⁿ で検索できる.

反応 (1) A + B ---> C
反応 (2) C ---> D
反応 (3) D ---> E
反応 (4) = 反応 (1) + (2) A + B ---> C ---> D
反応 (5) = 反応 (2) + (3) C ---> E
反応 (6) = 反応 (1) + (2) + (3) A + B ---> C ---> E

- 分岐多段階反応 A + B ---> C ----> D (例:誘導体合成) | ---> E ---> F
 - 反応(1)~ 反応(8)を反応情報として CAS SciFinderⁿ で検索できる.

反応 (1) A + B ---> C

反応 (2) C ---> D

反応 (3) C ---> E

反応 (4) E ---> F

反応 (5) = 反応 (1) + (2) A + B ---> C ---> D

反応 (6) = 反応 (1) + (3) A + B ---> C ---> E

反応 (7) = 反応 (3) + (4) C ---> F

反応 (8) = 反応 (1) + (3) + (4) A + B ---> C ---> F

どの組み合わせでもヒットするように、分割したステップも収録されている

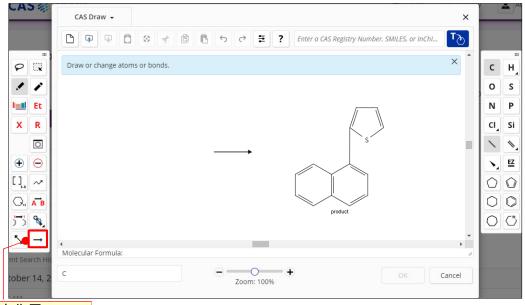
反応情報データベースでの反応検索の流れ

■ STEP1:作図

Search で Reactions を選択, Oraw をクリックし, 反応作図画面を起動する.



反応作図画面に構造を作図して、反応物、試薬、生成物のロール(役割)を指定して (下図の例では生成物を作図)OK をクリックする.

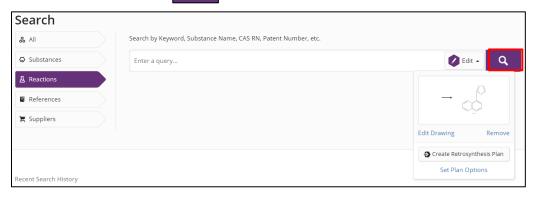


反応作図ツール

|→ :矢印を左から右にドラッグすると,位置関係からロールが自動的に割り当てられる

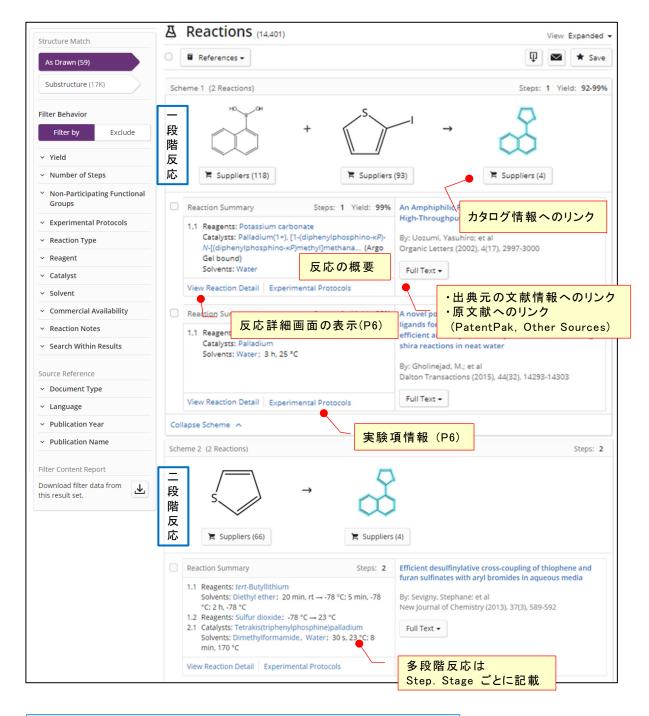
■ STEP2:検索

反応質問式が読み込まれたら、 Q ボタンをクリックして検索する.



■ STEP3:表示(結果一覧画面)

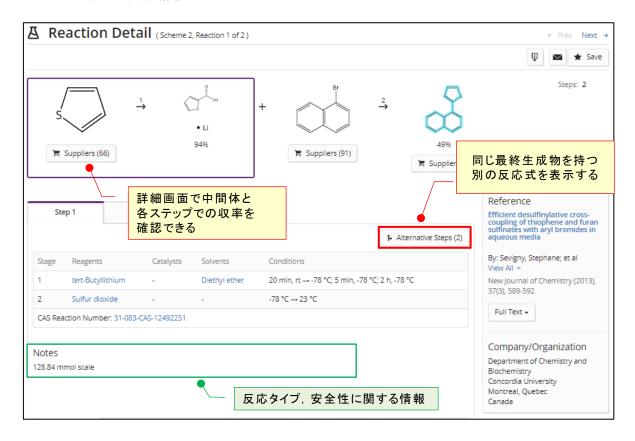
- 検索タイプは Structure Match から選択する.
- 回答は関連度の高い順に反応スキームで表示される。
- ・ 反応物と生成物が同じ反応は、出典が異なる場合でも同一スキームにまとめて表示される. スキームの詳細情報を見るには、回答一覧で、Expand Scheme をクリックする.
- 一段階反応の他にも、多段階反応も収録されている。
- Experimental Procedure には、実験項情報として雑誌論文や特許明細書中にある実験手順を示す記載箇所が収録されている。



Step: 生成した物質を単離する

Stage: 生成した物質を単離せずに、試薬・触媒を加えて先の反応に進む

■ STEP3:表示(詳細情報)

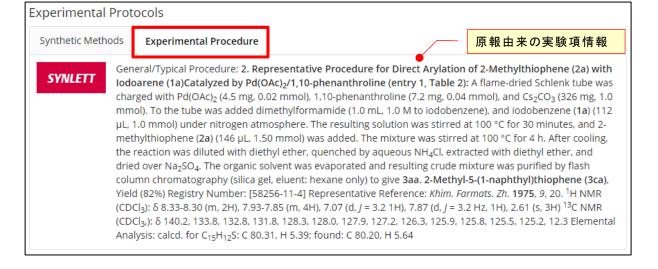


- STEP3:表示(実験項情報)
- 原報を見なくても、詳細な実験手順を確認できる.
- 実験項情報には, Synthetic MethodsとExperimental Procedure の 2 種類がある.

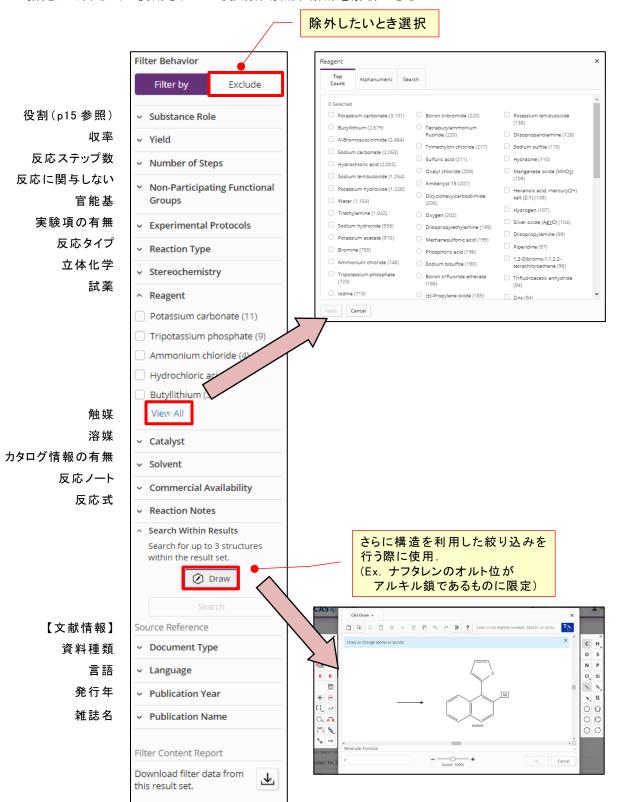
実験項情報の収録範囲

Synthetic Methods			
雑誌論文等	2000 年~		
ACS	: Journal of Medicinal Chemistry, Journal of the American Chemical Society		
Springer	: Catalysis Letters		
Taylor & Francis	: Journal of Coordination Chemistry		
Elsevier	: Tetrahedron		
RSC	: Chemical Science		
Wiley	: Angewandte Chemie なと	ご約 180 誌由来の情報	
WO 特許(英語)	2010 年~		
Experimental Procedure			
雑誌論文等	主に 1998 年~		
ACS	: 全誌		
Taylor & Francis	: Synthetic Communications, Journal of Coordination Chemistry など		
Springer	: 化学系 165 誌 (1985 年~)		
上海有機化学研究所	: Youji Huaxue, Huaxue Xuebao		
Thieme	: SYNLETT (1989 ~ 2013 年), SYNTHESIS (1980 ~ 2013 年)		
SORD	: Selected Organic Reactions Database (学位論文由来, 1961~2011 年)		
下記の言語の特許	2000 年~		
英語	: アメリカ, ヨーロッパ, WIPO, カナダ, イギリス		
日本語	: 日本, WIPO		
ドイツ語	: ドイツ, ヨーロッパ, WIPO		

ynthetic Methods	Experimental Procedure		
Products	2-Methyl-5-(1-naphthalenyl)thiophene, Yield: 82%		
Reactants	1-lodonaphthalene		
	2-Methylthiophene		
Reagents	Cesium carbonate		
	Ammonium chloride		
Catalysts	1,10-Phenanthroline		
	Palladium diacetate		
Solvents	Dimethylformamide	_	
	Water Step by Step 形式の 合成手順		
	 Add dimethylformamide (1.0 mL, 1.0 M to iodobenzene), and iodobenzene (1a) (112 μL, 1.0 mmol) under nitrogen atmosphere to the tube. Stir the resulting solution at 100 °C for 30 minutes and add 2-methylthiophene (146 μL, 1.50 m). Stir the mixture at 100 °C for 4 h and cool. Dilute the reaction with diethyl ether, quench by aqueous NH₄Cl and extract with diethyl ether. Dry over Na₂SO₄ and evaporate the organic solvent. Purify the resulting crude mixture by flash column chromatography (silica gel, eluent: hexane or) to obtain the product. 		
Transformation	Photochemical Arylation of Aromatic Compounds		
Scale	milligram		
naracterization Data			
^ 2-Methyl-5-(1-n	aphthalenyl)thiophene <u>」 生成物の NMR 情報</u>		
Proton NMR Spectrum	(CDCl ₃): 8 8.33-8.30 (m, 2H), 7.93-7.85 (m, 4H), 7.07 (d, <i>J</i> = 3.2 1H), 7.87 (d, <i>J</i> = 3.2 Hz, 1H), 2.61 (s, 3H)		
Carbon-13 NMR	(CDCl ₃ ,): δ 140.2, 133.8, 132.8, 131.8, 128.3, 128.0, 127.9, 127.2, 126.3, 125.9, 125.8, 125.5, 125.2, 12.3		
Elemental Analys	is calcd. for C ₁₅ H ₁₂ S: C 80.31, H 5.39; found: C 80.20, H 5.64		



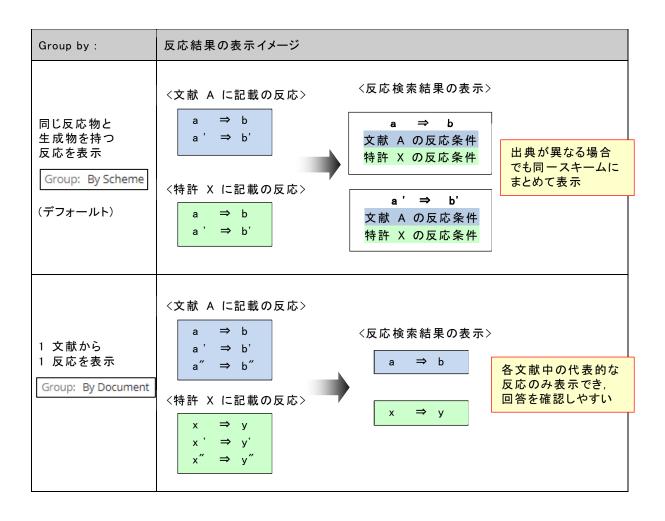
- STEP4:回答の限定
- フィルターを利用すると、収率や反応ステップ数などで回答を限定できる。
- 指定した反応式で使用されている試薬, 触媒, 溶媒を解析できる.



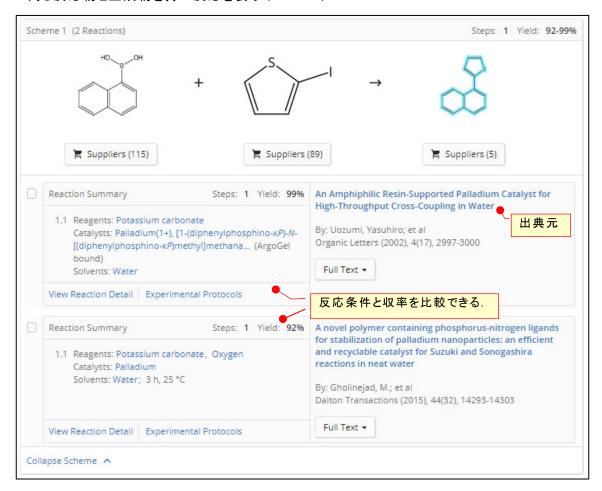
■ 反応検索結果のグループ化

反応検索結果を表示する際、目的に応じてグループ化を用いると、効率的に反応情報を見ることができる.

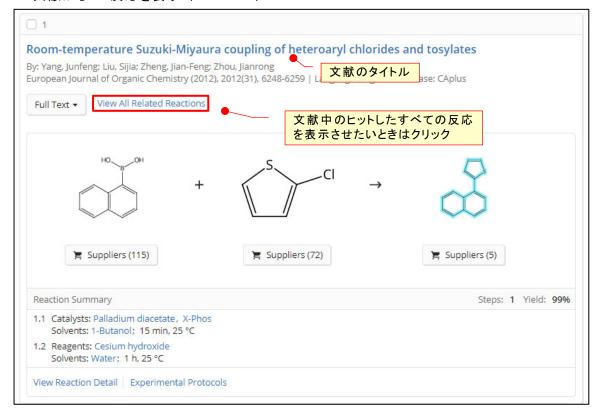




■ 同じ反応物と生成物を持つ反応を表示(Scheme)



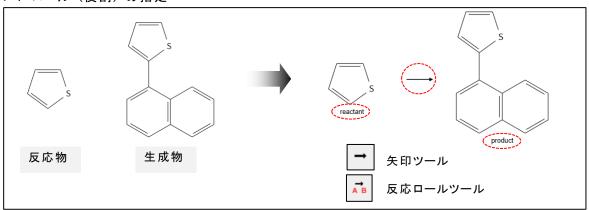
1 文献から 1 反応を表示(Document)



反応検索ツール

より精密に反応検索をしたいときは、反応作図ツールを利用して作図する.

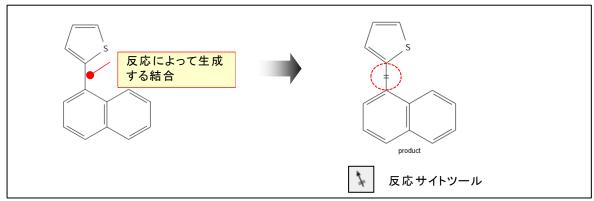
ケース 1: ロール(役割)の指定



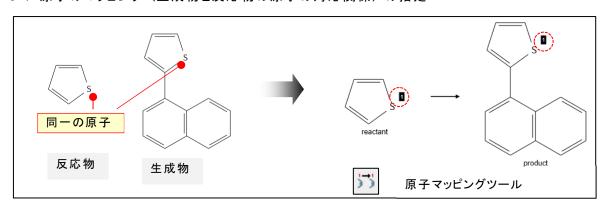
★ ポイント: 矢印ツールを作図すると, 自動的にロールが付与される.ロールを変更したい場合は, 反応ロールツールで指定する.



ケース 2 : 反応サイト(反応にともなって状態が変化する結合)の指定



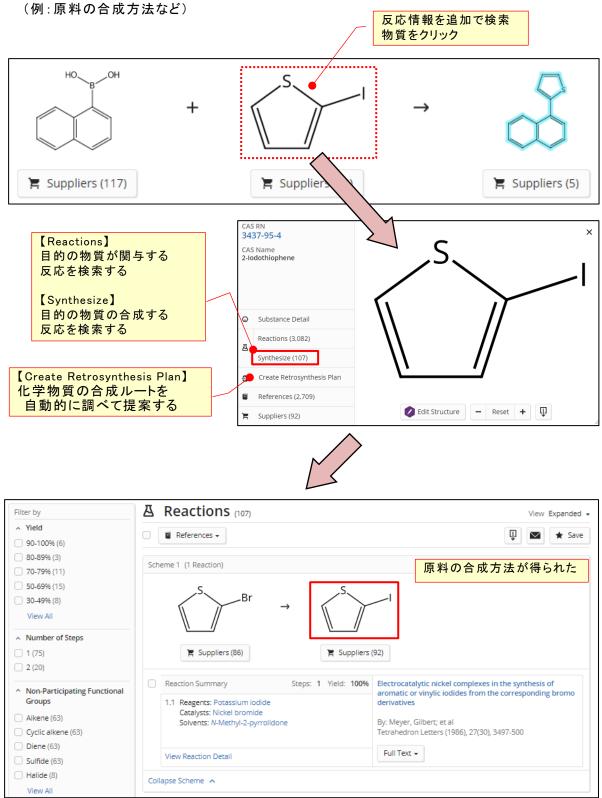
ケース 3 : 原子のマッピング(生成物と反応物の原子の対応関係)の指定



※ 詳細は CAS SciFinder の構造作図 (https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn_str.pdf) 参照

表示された物質に関する反応検索

・ 反応検索結果から,簡単な操作で追加の反応情報を調べることができる.



※ 合成ルートを自動で提案する Retrosynthesis Plan については、以下の資料を参照.

https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn_retrosynthesis.pdf

Product Only Reaction

反応検索結果に生成物のみの情報が得られる場合がある。この情報は、反応情報データベースの収録対象ではないが、生成物に指定した物質の合成(実験室規模で製造を意図したもの)方法として、Product Only Reaction として表示される。

生成物のみ指定した検索を行うと、Production Only Reaction の結果も回答に含まれる。フィルターの Reaction Type から、回答を Product Only Reaction に限定することができる。

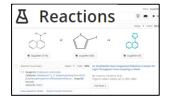


- * 購読のあるジャーナル, もしくは無償のジャーナルの場合は, その場で PDF を取得できる. それ以外のものは, 購入画面が表示される. (企業アカウントのみ)
- * 特許の場合は、PatentPak もしくは Full Text から Espacenet にアクセスすると 特許明細書を取得できる.

(参考) 3つの反応文献の検索の比較

(2021 年 10 月)

2 ·1 / 0 2 0 / / / /	て、一般の依然の比較		(2021 平 10 月)
項目	① 反応情報データベース から反応検索	② Product Only Reactions	③ 物質情報データベース からの反応情報検索
対象年代	1840 年~	1967 年~	1907 年~
検索対象の情報	反応情報(反応スキーム) 反応自体が新規,もしくは改 良点等のある有機化学反応	文献情報 製造を意図して 実験室規模で 合成された物質	文献情報 製造の意図があり、合成された物質や、回収・精製・分離・ その他の方法で生成された物質、また個々の反応中の反応物
収録数	190 万件以上(論文・特許数)1 億 1,800 万件以上(一段階・多段階反応数)	・ 437 万(論文・特許数)	806 万件(論文・特許数) (合成された物質)596 万件(論文・特許数) (反応中の反応物)
検索対象の物質 (生成物, 反応物)	有機化学物質 (有機金属物質を含む)	有機化学物質 (有機金属物質を含む)	化学物質全般 有機化学物質,無機化学 物質,ポリマーなど
検索方法	反応質問式を用いた反応検索 Reaction Type Full (48) Product Only (7)	Reaction Type で限定 Reactions Reactions Reactions Reactions Reactions Reaction Type Reaction Type Reaction Type Full (48) Product Only (7)	化学物質検索 ⇒ 文献検索 Substances References References
同一反応中の生成 物と反応物を指定	0	×	×
特長	・ 反応の詳細な条件を指定して検索できる ・ 反応に関与するすべての物質情報(反応物,生成物,試薬,触媒,溶媒)を収録する ・ 収録する ・ 収率情報や反応条件も収録される	・ 反応検索結果から文献 由来の情報が簡単 に得られる	・ 反応情報データベース からの反応検索や、 Product only Reactions では確認できなかった 有機化学反応が、追加 で得られることもある ・ 無機化合物、ポリマーを 含め、幅広く合成文献を 検索できる

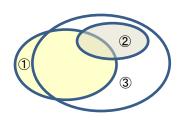








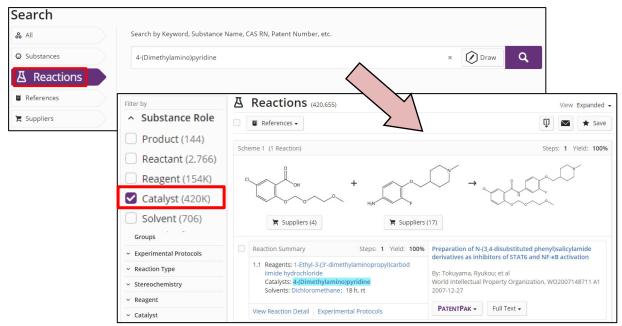




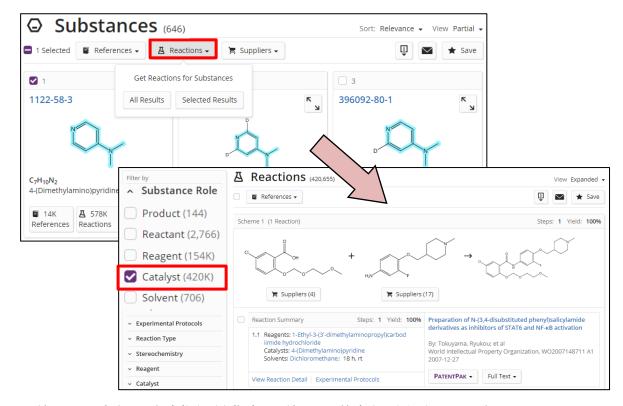
文献情報で比較した時のイメージ

反応検索に関するよくある質問

- Q1. 触媒を指定した反応検索はできる?
- A1-1. 触媒を物質名で指定する場合は、Reactions から検索し、結果画面のフィルターで Substance Role の Catalyst を選択すると、触媒を指定することができる.

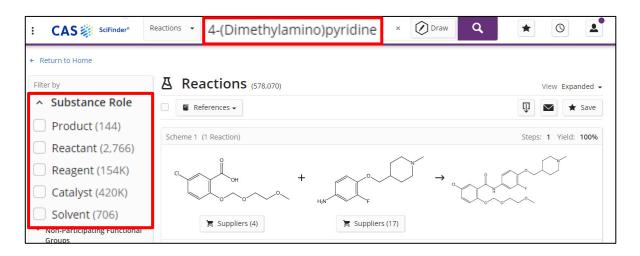


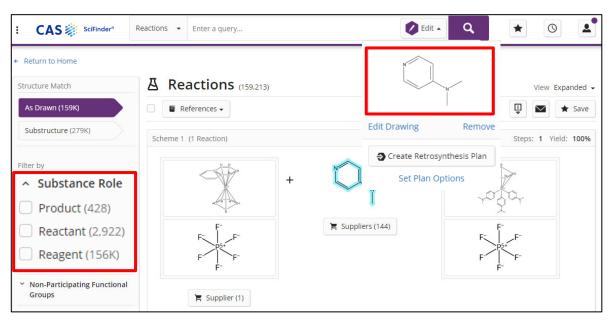
A1-2. 触媒を**化学構造**で指定する場合は、Substances から検索し、その結果に対して 反応情報へのリンク(Get Reactions)をクリックし、反応検索結果のフィルターで Substance Role の Catalyst を選択すると、触媒を指定することができる。



この結果から, あさらに生成物などを指定して絞り込み検索を行う場合は P8 参照

- Q2. Reactions で物質名称から検索した場合と化学構造から検索した場合で、 得られる回答は異なる?
 - A2. 化学構造から検索した場合, 指定した化学物質の Substance Role が Product, Reactant, Reagent である回答に限定され, Catalyst または Solvent で報告された 回答が含まれない.

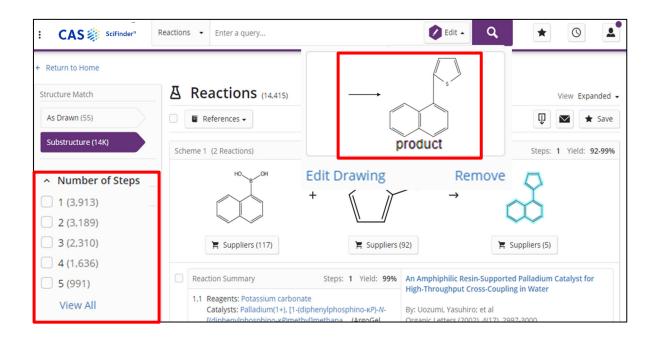


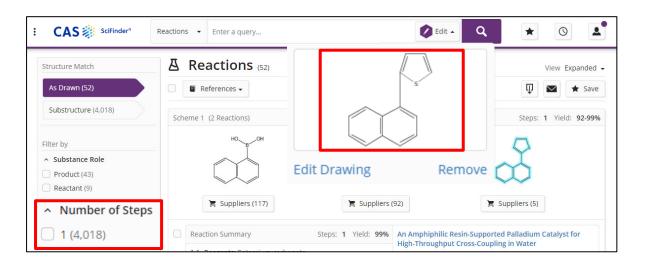


* 化学構造式を用いて, 完全一致検索(As Drawn) を行うと, 作図した構造どおりの物質だけでなく, 互変異性体なども検索対象に含まれる. 化学構造検索の検索タイプ, 構造検索のしくみについては以下の資料を参照.

(https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn_strtype.pdf)

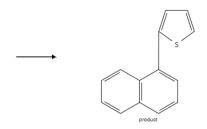
- Q3. Reactions でロールを指定した場合と指定しない場合で、得られる回答は異なる?
 - A3. ロールを指定しない場合, 得られる結果は一段階反応に限定される.



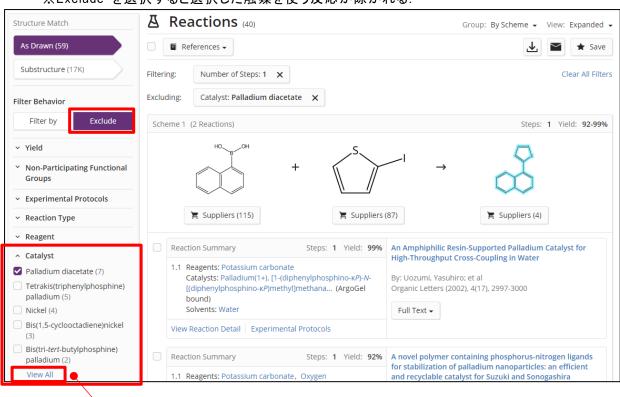


* ALL 検索で物質名, CAS RN®, 化学構造から検索を行う場合, ロールを 指定できないため, 得られる反応情報の回答は一段階の反応に限定される.

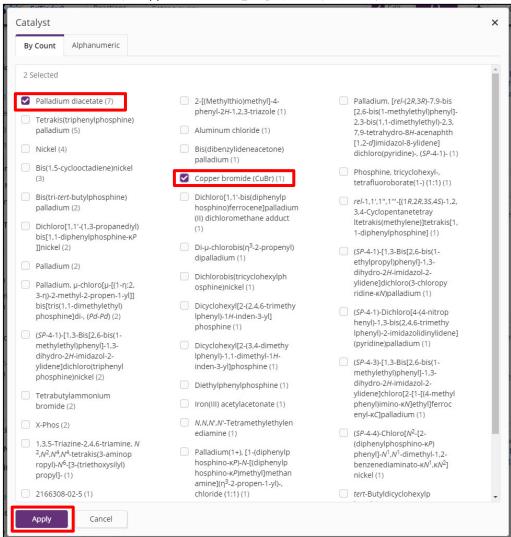
- Q4. 反応検索の結果から、特定の条件を除くことができる?
 - A4. Exclude フィルターを使えば特定の条件を除くことができる.
 - (例) 下記物質の合成法のうち, <u>Palladium diacetate, Copper bromide 以外</u>の触媒を用いているものに限定する.



- 1) 上記反応式を検索する. 結果に対し、フィルターで **Exclude** を選択し、Catalyst のリストから Palladium diacetate を選択する.
 - ※Exclude を選択すると選択した触媒を使う反応が除かれる.



すべての触 媒リストを 表示 2) リストに触媒がない場合は Catalyst フィルターの下にある View All を選択する. Palladium diacetate, Copper bromide を選択すれば、両方が除かれた反応に限定できる.

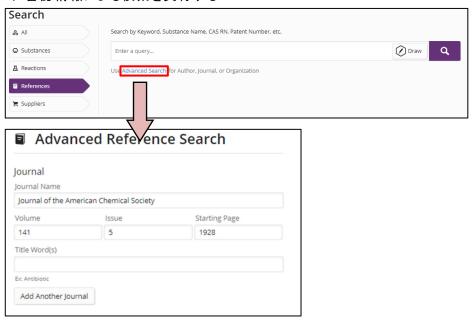




Combine 機能を使えば、除外だけでなく、より柔軟な集合間演算(AND・OR・NOT)が行える。Combine 機能の詳細は以下の資料を参照

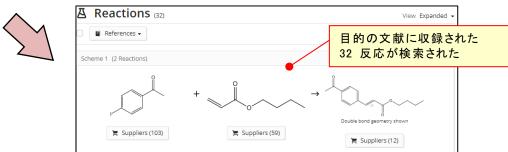
https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn_combine.pdf

- Q5. ある文献中に記載されている反応を検索する方法は?
 - A5. 文献を検索した後に Get Reactions で反応を検索する.
- (例) Fernandez, Estefania. et al. **Journal of the American Chemical Society, 2019**, *141 (5)*, 1928-1940 に記載されている反応を検索する.
- 1) 書誌情報による検索を実行する.



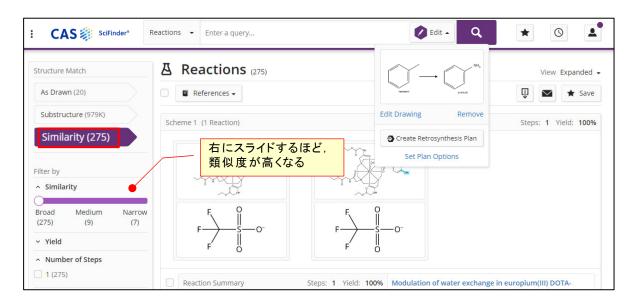
2) Get Reactions で文献中の反応情報を検索する.



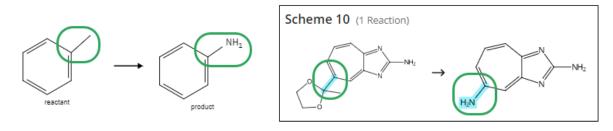


* 特許番号や Accession Number(AN)がわかっている場合は、ALL 検索で、 文献中に記載されている反応を検索できる。ALL 検索については、 CAS SciFinder 検索ガイドを参照.(https://www.jaici.or.jp/scifinder-n/ref/sfn.pdf)

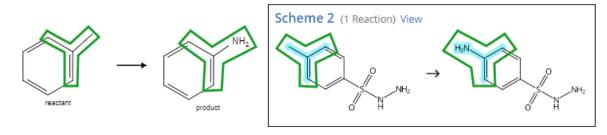
- Q6. 類似反応検索(Similarity)とは何?
 - A6. 検索した反応式と同様の反応中心をもつ反応を検索することができる. 類似反応検索は 反応物と生成物を作図すると得られる. 回答は一段階反応に限られる.



Broad(広い): 反応中心のみが比較され、上記の例では 275 件の回答が得られる。



• Medium(中間): 反応中心および隣接する原子・結合が比較され, 上記の例では 9 件の回答が得られる.



• Narrow(狭い): 反応中心および反応中心に対して α 位および β 位の原子・結合が比較され、上記の例では 7 件の回答が得られる.

